

# 環 境 と 保 育

と思ひます。

## ヘ一、本園の状況

(1) 戦災都市の中心部にあり、戦前の敷地には複雑な問題があつて使用できず昭和三十一年に至つて、ようやく小学校隣接の現敷地が確定した。

## 私の園の研究

かと非常に悩みました。

しかし私共を信頼して愛児を託される父兄や、喜々として繋りつく幼児の顔を見る

時、いや、今この時を除いてこの幼児に就

学前の教育をする時ではない、環境整備はい

くら焦つても私共の力だけで解決される問

題ではなく、あらゆる方面へ努力を続けな

がら時機をまたねばならない、それ迄はせ

めで今の環境を活かして、私共の力ででき

る限り教育の効果をあげるべく励むことこ

そ、私共の任務だと決心しました。そして

ここ数年来苦心して参りました。その実情を申上げて、皆様の御指導をいただきたい

### (2) 園地 園舎

○園地 五四〇坪

○園舎 保育室二（一五坪と一八坪）

遊戯室一（三〇坪）

職員室一（九坪）

便所一（六坪）

保育室職員室は小学校地内に借りもの

○園庭 約五〇〇坪

築山（トンネル）池 花壇 藤棚

砂場 三台 ぶらんこ その他運動具

### (3) 園児（毎年入園当初の数）

保育 幼児 数	組 数	年度		
		元年 度	二年 度	三年 度
二五八	六	六	六	五
二一〇	一八八	一八八	二〇〇	五

(4) 職員（昭和三十三年三月現在）

職名	昭和二年 九年度		昭和二年 ○年度		昭和三 一年度		昭和三 二年度	
	園長 (専任女子)	一	一	一	一	一	五	五
助教論		二	三	三	五	五		
用務員	一	一	一	○	○			
P事務員A	一	一	一	○	○			
計	九	九	八	七				

容しうるものは保育室遊戯室の三室しかない。その上保育室は分散しており、部屋の広さも不同であつて周囲の環境も非常に異なる。とにかくこの三室を活用して園児に公平に経験を与えるためにはどうするか種々協議した。

○保育の態をどうするか

各室の性能、環境からいって一年中一室に決めてしまうことは適当でない。しかし部屋を決めずに自由な形をとることは三室だけしかない関係上、混乱を招くばかりで効果をあげることができない。そこでスムーズに活動を展開するために時間によつて部屋の使い方をかえることにした。

登園より九時半迄を自由遊びとし、各園児の好む場でそれぞれの経験活動をさせ、九時半に合図によつて自由遊びをうちきり、後片付け、保育室交換、休息をおこない各組単位の保育を十一時迄続ける。十一時以後は再び自由遊びにもどつたり、日によつては組の遊びを続けたりする。これ九は

△、保育室がたりないための工夫

(2) 表の如く保育室遊戯室職員室便所の五室が園舎の全部であり、そのうち園児を收

時半の合図を守ることが原則で、一組でも変更すると全体の活動に支障をきたすので、もし自由遊びを延長したいときは前もって教師間の連絡をとつておく。また組単位の活動の終る時刻もほぼ同じにしておかないと、リズム遊びの途中で他組の園児が道具箱を持って遊戯室に帰つてくるという不都合も生じるから、教師は常に時間を考慮して指導する。

○衝立保育室の失敗

一室に二組収容するようになるので、最初は保育室の中央に衝立を置き、区切つて保育をはじめた。ところがいかに教師同志で計画をたてておいても、その日の幼児の状態によつては、思わず大声を出して互に防害しあう結果になつた。また幼児の活動状況に応じての臨機の处置も、衝立の両側の保育に気がねをしなければならぬという拘束感に促されて、じゅうぶんな効果をあげることができない。

幼児も衝立の近くにいる児は、両方の声

が気になり、実に不安定な状態となつた。

また衝立から受ける圧迫感が大きくて、狭い保育室が更に狭く感じられて失敗だつた。

### ○二組合同の保育

そこで衝立をとりのけて、九時半以後も

二組合同の形を続けることにした。二人の教師で二組を指導するわけである。一人が

主となり一人が副となり、二人でじゅうぶん計画をねり指導に当つた。幼児が衝立保育室の時のように両方へ気が散るという状態からは救われたが、保育室が長方形であるため、教師が理想的の位置をとることができず、教師のまわりの園児には話声がきこえるが、ずっと離れると聞こえない、そのため注意が集中しにくい結果となつた。

教師の声や指導力には限度があり、設置基準にしめされた通り四十人が最高である。それ以上の園児に徹底するような声を出し、指導することは無理であり、長続きがしない。

かといって、助言的立場の教師が大きな声

で助言すると、幼児は両方から指図されているような感がしておちつかない。人数が多いほど雑音も多くなり、いつもがさがさとおちつかないので、いきおい指導者が命令的口調になり易く、自主性がそこなわれ失敗だつた。

### ○木柵による環境整備

次に考えたのが戸外保育である。幸い園庭は広く周囲に建物がないので陽当たりは申分ない。園児の家庭環境は商店街が多く歓

びに便利なように幅三寸位の板を三寸おきにうつたもの）まわりをかこむことにした。運動場の真中にある約九坪の藤棚のまわりを、八枚の木柵でかこむと小さい保育室ができ、非常に安定してきた。他組の園児も保育室と心得て邪まをしない。申分のない青空健康保育室である。また必要に応じてどこへでも移動できるので変化があり、これで五組がそれぞれ保育室をもつことができ、大成功だつた。

### ○戸外保育を重視

遊園地 後楽園 船着場 商店街など園児の足で三十分前後で行ける場所を選び、園外保育計画をたて、季節によって自然観察・社会見学などに出かけた。いつも行く学区内の遊園地では付近の家へ救急薬品箱・飯食道具・敷物などを預けておいて利用するようにした。また時にはバスを利用して農村へ出かけることもあるが、なるべく全園児でなく交替に行き、残った方は園内の施設をじゅうぶんに活用するように心

早速に運動場の一隅に、机、椅子をもち出して行ったが不安定で、自分たちのからだも、声までも大空にしいとられてしまうようで実にたよりない感じがする。そこで高さ三尺、幅六尺の木の柵を作り（持ち運

がけた。

### 三、学級編成の苦心

(3) 表の如く年々六組あるいは五組の学級編成をした。昭和二十九年度までは生年月日を均等に混合して六組編成し、部屋の大きさにより園児数に差をつけて、二組ずつ収容した。日々行動記録をとっているうちに、誕生月の早い児と遅い児とは相当の差があることがわかつてきた。特に生活態度、社会性の面には差が大きいようだ。一組ではあまり目立たない差も、二組になると

とはつきりしてくる。

例えば、入園当初の社会性のない頃に、からだがふれあつただけでけんかになるような場合、いつも自己を主張して勝つのは誕生日の早い体格のよい児であり、遊びの中心となるリーダー格はこれまた早く生れている児である。遅い誕生月の児はいつも身体的・精神的に圧迫を受けている。四十人の中で受ける圧迫感と八十人の中で受ける

圧迫感とは当然後者が大ではなかろうかと

案じられた。そこで

○昭和三十年度は四月生れより翌年三月生れ迄を生年月日順に約二ヵ月ずつ区切って、月令別にA B C D E F（仮記号）の六組に編成した。そして A B C D E F の組合せにして、A B の数を多くE F を少なしくして三室に入れた。入園当初は身心共に成長発達程度がだいたい同じであるから、圧迫感・劣等感が少なく、楽しく集団に入り、ボス的な傾向や萎縮した幼児が前年に比べて少なかつた。

しかし就学期が近づくに従い知能テストの結果に大差はないが、きまりを守る態度に差ができ、友だちと仲よく協力する態度に差がつき、友だちと仲よく協力する程度も異り、A B では八・九人のグループで共同製作ができるのにE F は二・三人のグループしか構成できない。また教師の話を聞こうとする意欲、態度にも差がついた。結果一年中、月令別編成にしておくことは失敗のようだ。

○昭和三十二年度は均等編成、月令別編成の長所をとり入れることを目標とした。一学期はA B 、C 、D E の組合せ、二学期はA E 、B 、C D の組合せ、三学期はA 、B D 、C E の組合せとして成功したようだ。

入園当初の集団生活に入る最初は成長発達同程度の編成とし、なれるに従い二学期からは平均に近い組合せにして、幼児同志互に刺戟しあい、月令差をかばいあうようさせたことがよかつたと思う。

#### 四、職員組織

実際に皮肉なことに保育室がたりなくて都合のよいこともある。前述の如く九時半から十一時迄の時間を除いては、だいたい一室に二組が活動しているため、教師は常に二人で二組を共同指導するような形になる。従つて教師の組合せを考えるとき、経験年数による指導力、老練さ、若さと熱意、また各々の特技ならびに個性をよく考慮して組織すると、互の長所を發揮し欠点を補いあい、実に妙味あるものとなつた。

### 私たちの幼稚園

谷野外子

私の園の研究

私たちの幼稚園——といつても一種のさやかなものだが。

園児数(一年保育の五才児)  
男児二十三名 女児二十一名 計四十四

実際に皮肉なことに保育室がたりなくて都合のよいことがある。前述の如く九時半から十一時迄の時間を除いては、だいたい一室に二組が活動しているため、教師は常に二人で二組を共同指導するような形にならなければなりません。私が手を経てきました。私は今後なお一層この環境で教育効果をあげるべく、研究を続けて参りたいと思つております。

◎計画通りに進めばまもなく市当局の尽力によって、新園舎建築に着工し、私共の悩みも解消されつつあるはずです。

家庭から直接きたもの	保育歴	男女	計
一年間幼稚園または保育所を経てきたもの	9	11	
一年間以上幼稚園または保育所を経てきたもの	18	1	
五年間以上幼稚園または保育所を経てきたもの	27	12	

なお家庭は大体インテリ層が多いといえる。当園は現在小学校と併設で、子どもたちはいつも小学生と接触する機会も多く、運動会、学芸会などは共催です。関係上、自然にみようみまねで小学生の遊びもおぼえるなど、いろいろの影響をうけている。

現在の園舎は、去年の四月、數十年経た古い小学校の二教室をゆずり受けたもので、保育室と遊戯室とにあてているが、窓が高く、室内はうす暗く螢光灯を七灯入れている。下水道も完備していないため、雨の日は入口あたりに水がつくありさまざまない園舎とはいえない。保育室 十六坪、遊戯室 二十二坪で、四十四名の園児が生活

名 これらの園児の保育歴は次のとおりである。